

# 町選挙管理委員会委員の選任

議会12月定例会で、任期満了に伴う選挙管理委員会委員と補充員の選挙が行われ、4人の委員と4人の補充員が選任されました。任期は、平成20年2月1日から平成24年1月31日までの4年間で、任期初日に選挙管理委員会が開催され、新体制が次のとおり決まりました。末藤委員長は「公正な選挙が行われるよう、委員全員の力を合わせ、その重責を果たしていきたい」と話していました。

選挙管理委員会委員(敬称略)  
委員長 末藤峰夫(下延沢)



委員長職務代理者  
香川隆(下島)



委員 日吉忠造(榎本)



委員 谷脇りつ(上延沢)



選挙管理委員会委員補充員  
(敬称略)  
川澄浩(牛島)  
齊藤壽美子(中家村)  
遠藤正嘉(金井島)  
加藤信行(田中)

選挙管理委員会は、公正な選挙が行われるよう、公職の選挙を管理し、執行します。

選挙管理委員会(総務課)  
☎84・0310

# 県西地域 合併検討会 情報 ④

合併のメリットと課題は?

2月号では、「なぜ今、合併なの?」と題し、今、全国的に市町村合併が行われている背景をお伝えしました。今回は市町村合併のメリットと課題についてお伝えします。

## 合併のメリットは何?

- ①住民の利便性の向上  
現在の各市町の役所・役場・支所など、利用可能な窓口が増加することで、住民票の発行などの窓口サービスが、住居や勤務地の近くなど多くの場所でも利用可能になります。また、現在の市町の境界に縛られず、より生活の実態に即した小・中学校区域の設定なども可能になります。
- ②サービスの高度化・多様化  
小規模自治体では設置困難な都市計画や情報化、公害対策などの専任部署・職員を置くことができるほか、専門職(栄養士、建築技師など)の採用も可能になり、専門的で高度な行政サービス展開が

できるようになります。  
③行財政運営の効率化と基盤強化  
総務、企画などの管理部門を集約することで、福祉などの行政サービスを直接担当する部署への職員配置を厚くし、きめの細かいサービスを提供できるようになります。また一方で、全体の職員数を大幅に少なくすることができると、首長や議員、各種委員会の委員などの削減と合わせ、人件費は抑制されます。

- ④広域的観点に立ったまちづくりと施策展開  
道路や公共施設の整備、土地利用など、広域的な視点に立った効果的なまちづくりを進めることができるようになります。

## 合併の課題は?

- ①役所、役場が遠くなり不便になるのではなか  
対応策：情報通信技術の活用や旧市役所、町役場を支所、出張所とすることで、引き続き

き窓口サービスなどを受けられるようにすることなどが考えられます。  
②中心部だけが良くなって周辺部は取り残される  
対応策：各市町村間で合併後のまちづくりについて合併前に十分に協議を行い、周辺部にも配慮した計画を作成することなどが考えられます。  
③地域の個性や伝統が失われる  
対応策：旧市町村の名称を町、字名や公共施設の名称として残すことなどが考えられます。  
④サービス水準が低下し負担が重くなる  
対応策：合併後の一定期間は、合併前のサービス水準や負担を維持し、急激な変化を緩和することなどが考えられます。

県西地域合併検討会における検討状況などは、ホームページをご覧ください。  
<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/gappei/>

企画政策課 ☎84・0312

# 3月1日~7日 春季全国火災予防運動実施

足柄上消防組合管内の平成19年中の火災件数は37件で、前年と比較すると8件減少しました。

しかし、依然として建物火災は多く、全体の約45%に当たる16件が発生しています。火災の原因は、建物火災16件中、放火によるものとたばこによるものが50%を占めています。

また、放火による火災は9件で、平成19年中の火災原因の第1位になっています。

建物火災による死亡者は、毎年、全国で1500人を越えています。死因については、一酸化炭素中毒や窒息が大半であることから、皆さんの自宅に住宅用火災警報器の早期設置をお願いします。

足柄消防組合

☎74・6663

環境防災課

☎84・0314

# 先人の知恵と水への思い

# 川丈六地蔵を訪ねて

〜まちづくり情報特派員特集・その③〜



## 飯泉のお地蔵さん

富士山の宝永の噴火後、酒匂川の治水にあたった田中丘隅は、水害に備え、堤防を守る工夫の一つとして、酒匂川の急所ともいえる6か所にまつた地蔵を川丈六地蔵と名づけ、後世に伝えました。(広報かいせい1月号参照)

今回は、川の下流、左岸の飯泉と右岸の多古にあるお地蔵さんを訪ねます。



飯泉のお地蔵さん

## 多古のお地蔵さん

国道255号線飯泉橋西の信号の扇町第一公園付近の土手の松林内に、3方6段積みまのブロック造りでしっかりとした屋根で覆った中に安置されています。風雨がしのげ、目・鼻・口もはっきりしていて、肌もきれいで、今でも柔和な顔が拝めます。赤い前掛けと目の前の花がひととききれいに見えました。

## 取材を終えて

早春の日差しにキラキラと光る水面、酒匂川の土手を散策している時この光景を美しいと感じている人も多いことでしょう。この酒匂川が時に暴れ川に変貌するとは今では想像もつかないことです。

春には桜が咲き、アユが躍る酒匂川。この町に住んで良かった、この町が故郷で良かったと思えるように、私たちが川丈六地蔵とともに防災意識を高め、美しい酒匂川を守っていききたいと思っています。酒匂川で洪水氾濫が最も起こりやすい所に建てられている川丈六地蔵は、田中丘隅の思いとともにこれからも地域の人々によってたいせつにまつられることでしょう。

まちづくり情報特派員

荻野 安夫  
小野 龍男



頭は上流の岩流瀬①と大口②、真ん中の腹は中流の三角土手③と九十九間土手④、脚は下流の飯泉⑤と多古⑥です。富士山宝永大噴火300年史調査研究会発行「富士山と酒匂川」より



多古のお地蔵さん